

■ 本文

祇園精舎の鐘の声、諸行無常〔①〕の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰〔②〕の理をあらはす。おごれる人も久しからず〔③〕、ただ春の夜の夢のごとし〔④〕。たけき者もつひには〔⑤〕ほろびぬ、ひとへに風の前の塵に同じ。

■ 設問（全20問）

1. この冒頭全体（「祇園精舎の鐘の声……風の前の塵に同じ」）を、現代語訳しなさい。
2. 傍線部①「諸行無常」とは、どのような考えか。わかりやすく説明しなさい。
3. 傍線部②「盛者必衰」の意味を答えなさい。
4. 本文中の「あらはす」を、現代仮名づかいに直して書きなさい。また、その意味（口語訳）も答えなさい。
5. 「久しからず」を文法的に説明しなさい（もともになる語の品詞・活用形と、付いている語の説明）。
6. 傍線部③「おごれる人も久しからず」を現代語訳しなさい。また「おごれ（る）」の意味を答えなさい。
7. 「ただ春の夜の夢のごとし」を現代語訳しなさい。
8. 傍線部④「ごとし」について、文法的に説明しなさい（品詞名・活用形・意味）。
9. 「たけき者もつひにはほろびぬ、ひとへに風の前の塵に同じ」を現代語訳しなさい。
10. 「たけき者」の「たけき」は、形容詞「たけし」が活用した形である。「たけし」の意味を答えなさい。
11. 傍線部⑤「つひには」の「つひに」について、品詞名と意味を答えなさい。
12. 「ほろびぬ」の「ぬ」は何か。文法的に説明しなさい（品詞名・意味・活用形）。
13. 本文中から**対句**になっている部分を一組抜き出し、なぜ対句といえるのかを説明しなさい。
14. 本文中から、第4問とは**別の**対句を一組抜き出しなさい。
15. この冒頭の文章は、ある音数のリズムを基本にしている。何調と呼ばれるリズムか答えなさい。
16. この文章全体を貫いている、人生や世の中についてのものの見方を何というか。漢字で答え、その内容を簡単に説明しなさい。
17. この冒頭部分は、『平家物語』という長い物語全体の中で、どのような役割を果たしているか。簡単に説明しなさい。
18. 【文学史】『平家物語』が成立した時代を答えなさい。
19. 【文学史】『平家物語』のように、戦（いくさ）を中心に描いた物語のジャンルを何というか、漢字で答えなさい。
20. 【文学史】『平家物語』を琵琶に合わせて語り広めた、盲目の僧を何と呼ぶか答えなさい。また、その語りを何というか（漢字三字）もあわせて答えなさい。